



第287号

2012年(平成24年)12月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空溝町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 運天 政五郎
大臨技ホームページ URL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

重要

会員各位

平成25年度からの会費納入方法の変更について

平成25年度から大臨技会費の納入方法が下記のとおり大きく変わります。
(日臨技および大臨技に入会されている方は、別納から合算納入に変わります。)

① 日臨技および大臨技に入会されている方

日臨技年会費 10,000 円と大臨技年会費 5,000 円を合算した 15,000 円が、
日臨技に登録の振替口座から引き落としされます。

これに伴い、

- 1) 予め振替口座の残高確認をお願いします。
- 2) 日臨技へ会費振替口座の登録をされていない方は、平成25年1月10日(木)までに、日臨技を通じて「会費振替口座の登録」をしてください。
- 3) 平成24年度で退会を希望される方は、平成25年1月10日(木)までに、下記の処理を行ってください。
退会申請をされない場合、平成25年度会費が口座から引き落とし(平成25年2月27日予定)されます。
必ず期日までに退会の手続きを行ってください。

① 日臨技および大臨技を退会される方

- ▶ 日臨技退会の手続きを、日臨技ホームページから行ってください。
- ▶ 大臨技退会の手続きを、次のように行ってください。
大臨技ホームページから「大臨技退会届」をダウンロードして必要事項を記入後、大臨技事務所に提出してください。

② 日臨技のみ退会される方

- ▶ 日臨技退会の手続きを、日臨技ホームページから行ってください。
- ▶ 大臨技会費は、次の「大臨技のみに入会されている方」に準じて納入してください。

③ 大臨技のみ退会される方

- ▶ 大臨技退会の手続きを、次のように行ってください。
大臨技ホームページから「大臨技退会届」をダウンロードして必要事項を記入後、大臨技事務所に提出してください。

② 大臨技のみに入会されている方

郵便局に備え付けの「払込取扱票」(白地に青枠の用紙)に、下記のとおり必要事項を記入し、
大臨技年会費 5,000 円を振り込んでください。振込手数料は各自ご負担ください。

- ・ 口座番号 00950-1-1021 (正確に記入してください。)
- ・ 加入者名 社団法人 大阪府臨床検査技師会
- ・ 通信欄 「平成 25 年度大臨技年会費」と記入すると共に、大臨技会員番号、施設番号(わかれば)、
および施設名も記入してください。

また、「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」(大臨技のみの会員専用)に加入される方は、7,950 円(大臨技年会費 5,000 円+保険料 2,950 円)を振り込むと共に「大臨技臨床検査技師賠償責任保険 加入依頼書」(大臨技ホームページよりダウンロード)を提出してください(加入依頼書の提出は年毎に必要です)。
「払込取扱票」の通信欄には「平成 25 年度大臨技会費+保険料」と記入してください。

※上記についての詳細は、大臨技ホームページの「平成 25 年度からの会費納入方法の変更について」
および「大臨技臨床検査技師賠償責任保険について」をご覧ください。

③ 日臨技のみに入会されている方

従来どおり、日臨技に登録の振替口座から引き落としされます。

他職種公開講座

情報組織部 チーム医療部門 糖尿病療養指導部会からのお知らせ

糖尿病療養指導部会 定例勉強会

評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

前半では、臨床検査技師による糖尿病患者さんとの関わりについて糖尿病教室を含めてご紹介いただきます。大阪労災病院では糖尿病療養指導のほかにも内視鏡、ICT、NST など多職種で構成される業務として臨床検査技師も活躍されておられます。チーム医療に参画していくためのヒントが得られるかと思えます。

後半では、症例を通して糖尿病知識を深めたいと思います。本を読みながら勉強してもなかなか身につかないことありますが、患者さんの顔を思い浮かべながら病態を追っていくと理解しやすいのではないのでしょうか。糖尿病療養指導士の受験にも役立つ内容を予定しています。ぜひ多くの方の参加をお待ちしております。

内容

1. 大阪労災病院での糖尿病教室の取組み

講師：大阪労災病院 中央検査部 平原 道雄

2. 症例を通して学ぶ糖尿病知識のあれこれ

講師：ふくだ内科クリニック 横山 有子

日時

平成24年12月12日(水) 18:30~20:00

会場

大阪鉄道病院 3階講堂
(JR天王寺駅、地下鉄御堂筋線・谷町線天王寺駅、
近鉄阿部野橋駅徒歩5分)
会場の入口で臨床検査技師会会員証の提示の協力をお願いします。

参加費

会員500円 (非会員は別途資料代として500円が必要です)

連絡先

ふくだ内科クリニック 横山 有子
Email: ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp



糖尿病療養指導士認定のための更新単位
(臨床検査技師のみ 1群) : 0.5 単位

(CDEJ)の方で認定機構発行の「学会・研修会出席証明書」の必要な方は各自持参して参加証明印をもらってください。

他職種公開講座

第2回 北支部地域オープンセミナー



『ICT(Infection Control Team)活動の現状と課題』

【内容】 医師、薬剤師、看護師、検査技師の立場から、それぞれの取り組みを発表してもらい討論する。

本年4月から感染対策連携加算が記載されたこともあり、各施設とも前向きに取り組んでいるが、取り組み内容には施設間差が見うけられるようです。職種ごとの役割、施設の現状および課題などを紹介いただき、施設間・職種間の情報交換や意見交換の場にしたいと考えます。

日時

平成25年1月26日(土) 15:00~18:00

会場

大阪医科大学 臨床第2講堂
(高槻市大学町2-7,阪急高槻駅徒歩2分、
またはJR高槻駅徒歩10分)

参加費

会員500円 (非会員は別途資料代として500円が必要です)

連絡先

北支部長 竹下 仁 (大阪府三島救命救急センター)
Email: takesita302@osaka-mishima.jp

評価点

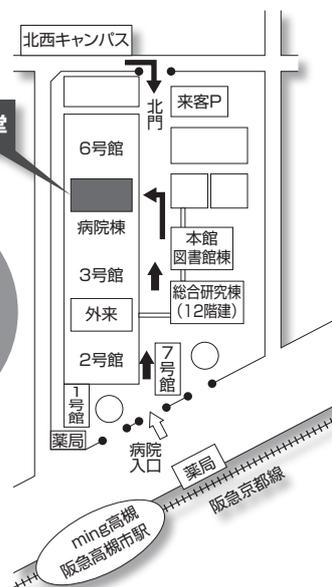
基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

(詳細は次号1月号ニュースに掲載予定です。)

臨床第2講堂

大阪医科大学
案内マップ





「大阪で拡がりや止まらないHIV感染症—あなたに出来ることは？」

講師: 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター長 白阪 琢磨

主な先進国の中では“唯一 HIV 感染者が増加している国”と言われて久しい日本ですが、今もって HIV 感染者、エイズ患者共に増加の一途をたどっています。

特に大阪では、全国平均を上回る率で感染者、患者が増加しているという由々しき状況にあります。

今回の学術講演会では、HIV 研究の第一人者である国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター長の白阪琢磨先生を講師にお迎えし、HIV 感染症についての現状や今後の課題についてご講演していただきます。府民・市民の皆様も交えて有意義な講演会になりますよう皆様のご参加をお待ちしております。

日時

平成25年1月12日(土) 14:00~15:30

会場

大阪医科大学 臨床第1講堂

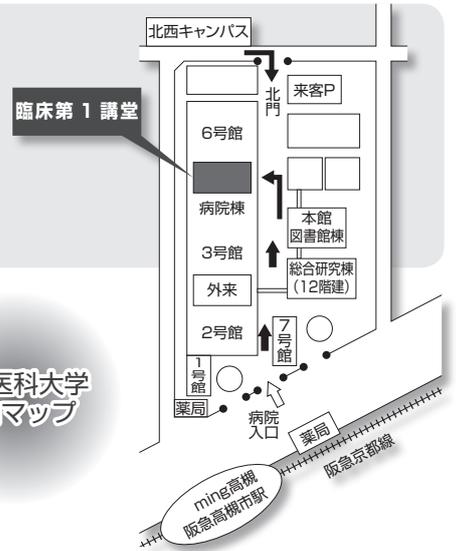
参加費

無料

連絡先

大阪府済生会中津病院 検査技術科 深田 恵利奈
E-mail: yuketu-osaka@mail.goo.ne.jp

大阪医科大学
案内マップ



輸血セミナー 2013

日時 平成25年2月9日(土) 10:00~16:00

会場 大阪医科大学 臨床第1講堂

参加費 3,000円(非会員は別途資料代1,000円が必要です)

連絡先 大阪府済生会中津病院 深田 恵利奈

E-mail: yuketsu-osaka@mail.goo.ne.jp

内容は次号、1月号の大臨技ニュースをご覧ください。

Information

学術部 免疫血清検査部門からのお知らせ

免疫血清検査部門 特別講演会



日時

平成25年1月26日(土) 15:00~18:00

会場

大阪医科大学 講義実習棟学I講堂
(高槻市大学町2-7.阪急高槻駅徒歩2分、
またはJR高槻駅徒歩10分)

参加費

会員500円(非会員は別途資料代として500円が必要です)

定員

150名

主催

社団法人 大阪府臨床検査技師会 学術部 免疫血清検査部門

共催

社団法人 大阪府臨床検査技師会 学術部 一般検査部門

連絡先

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 上田 一仁
Email: k.ueda@ashiya-hosp.com

【テーマ】「尿を科学する！」

総合司会 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
上田 一仁

15:00~16:00	尿を分析する! ~真・生体情報宝物殿へのいざない~ 講師: 文京学院大学保健医療技術学部 中山 亜紀
16:00~16:10	休憩
16:10~17:10	尿を解析する! ~未知なる驚きとの出会いを求めて~ 講師: 天理医療大学医療学部 山西 八郎
17:10~17:20	休憩
17:20~18:00	総合討論 ~「尿」が我々に与えてくれるもの~ 司会: 大阪医科大学附属病院 中央検査部 山本 憲司

学術部 病理細胞検査部門からのお知らせ

第26回 大阪病理技術研究会 一般演題募集!!

平成25年2月23日に大阪病理技術研究会を開催いたします。
『ルーチンでの工夫』『医療事故対策をしました!』『染色や検体処理方法などの
検討しました!』等々
みなさまからの幅広い演題をお待ちしております。

連絡先

南大阪病院 宇津野 美弥子
Email: jako@oct.zaq.ne.jp



府民公開
講座
Citizen of prefecture
Open Lecture

平成24年度 大放技・大臨技 合同フォーラム



Theme 「胸痛！！まさかわたしの心臓が…？」

日時
平成25年1月19日(土) 14:00~16:45
会場
大阪府医師協同組合本部 8階大ホール

- (教育講演)
- ・ 心筋血流画像評価でしておきたいこと
 - ・ 痛みの原因を心電図・心エコーで探る
- (特別講演)
- ・ これで不安解消、胸の痛みの原因と治療法

この日は、必ずご予約を空けてください！
絶対に聴講したくなる先生方のご講演です！

詳細は1月号に掲載いたします。

Report
1

会員交流会 報告

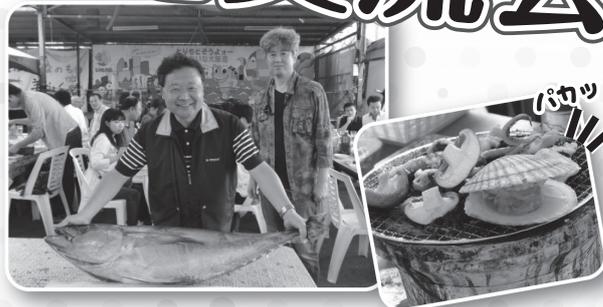
ツナ 鮪でツナがった交流会

10月6日に穏やかな
天候の中、堺のとれとれ市で行われました会員交流会の写
真と感想文です。友人や他府県、OBの先生にもご参加いただきました。
漁船クルージングにゲーム、連天会長・竹浦副会長の入刀に始まった
栗本理事によるマグロ解体ショーと、ほんとに楽しい一日でした。
ありがとうございました。(地区事業部一同)

華麗なる
包丁さばき!



パカッ



「今回、初めてこのような交流会に参加させていただきました
が、充実した交流会でした。堺港を船でクルージングしたり、まぐ
ろの解体があったりと普段経験出来ないことをさせてもらいま
した。またこのような機会があれば参加したいと思います。」(A)

「目の前で解体されたマグロや、アワビ・ホタテ・サザエなどの
新鮮な魚介類をたくさんいただくことができ、大満足でした。」(K)

「漁港の歴史ののちの待ちに待ったお食事タイム、並んだ肉の
存在を忘れ魚介類を食べ漁る日が来ようとは(笑)
あえて不満を上げるとしたら…争奪戦でマグロの景品を逃した
ことでしょうか?大変美味し…もとい楽しい催しでした。」(H)

「事前に聞いていましたが 食材のボリュームに圧倒されまし
た。皆さんがなごやかなムードの中ひたすら焼き続けていました。
堺港のクルージングでは船の出す白波に魚がどんどん飛び跳ね
ていて、のんびりとそれを眺めて楽しませていただきました。
来年の開催もぜひ楽しみにしています。」(E)



於：平成24年9月15日(土) 大阪府医師協同組合本部

「チーム医療における口腔ケアの重要性」をテーマに看護師、検査技師、
歯科医師、歯科衛生士それぞれの立場からの講演で構成。

大阪府立成人病センター副看護師長の北坂氏は「頭頸部癌治療と口腔ケア」について咽頭、舌、喉頭癌の切除手術や放射線照射に伴う頭頸部機能の障害として誤嚥や口腔乾燥が起こることをあげ、患者さんのQOL確保のためには、患者さんの協力のもとに粘膜の保湿や清掃を行う口腔ケア指導が重要であることを述べられた。また、口腔乾燥は食欲低下や体重減少とつながるため、NSTとの連携が行われているとのことであった。

天理よろず相談所の感染制御認定臨床微生物検査技師である福田氏は、「口腔内細菌とのおつきあい」という内容で口腔内常在菌の役割から局所感染症である咽頭炎扁桃炎を引き起こすA群溶血性連鎖球菌検出の重要性や口腔カンジダ症について培養写真のスライドを多用した興味深い話をされた。

全身感染症としては誤嚥性肺炎や感染性心内膜炎に触れ、口腔ケアの効果を立証する取り組みとして「培養報告コメントを利用した情報提供」を行っており、全身感染症リスクの高い入院中の高齢者の喀痰培養結果に対して、グラム陰性菌が複数検出された際、口腔ケアの実施に留意してもらおうコメントをつけて返していると話された。

多根総合病院歯科医師の岡本氏からは「歯周病」が全身疾患に影響する様子についてわかりやすく説明していただいた。

歯周病手前の歯肉炎は1週間ほどのケア不足で起こり歯肉ポケットが歯周ポケットへと進行し重症化していく。すべての歯茎をあわせると手のひらと同じ大きさになり、胃に当てはめるとかなりの症状になるはずだが、口腔内は症状が出にくいいため放置されてしまうということだった。また、歯周病が糖尿病を引き起こすメカニズムとして、歯茎の炎症はTNF- α を産生しそれが増加するとインスリンの働きを妨げ高血糖になるという現象が起こるためだという。逆もしかりで糖尿病の方は歯周病が重症化していることが多く、口腔内を見ると糖尿病合併の予測がつかってしまうらしい。歯周病の

予防としてはやはりブラッシングによるプラークコントロールが大切。

ブラッシング方法は多根総合病院歯科衛生士の本田氏から説明があり、歯ブラシでは50%しかプラーク除去できず、歯間はデンタルフロスや歯間ブラシの併用が必要とのことだった。しかもプラークは2~3回のストロークでは除去されず、通常ブラッシングは10~20回のストロークが必要となるが、電動および超音波歯ブラシの使用をマスターすることで、時間短縮ができる。

歯磨き剤については基本使わなくともよいが使用するなら再石灰化作用のあるフッ素入りがおすすめとのことだが、多すぎると磨けているという清涼感を感じてしまうので注意するように。歯磨きのタイミングは夜寝る前と朝起きてすぐ、食後に関しては、食べかすが歯石化する前の食後30分以内が理想とのことであった。

それぞれの職種の分野で実施されていることは専門性が確立されているが、必ずリンクしているところがある。今回口腔ケアを通じて「チーム医療」への取り組みの重要性を知ることができる良い機会となった。

総務部広報担当 山田 真規子



参加者 49名
(内訳：大臨技 29名、他職種 11名、賛助会員 4名、その他 5名)

大臨技理事会報告 Executive board report

【平成24年度 大臨技第7回理事会(10月11日開催) 決定事項】

1. 大阪府医師会精度管理の広報を大臨技ニュースに掲載して広報することとした。
大阪府における外部精度管理のあり方については、現状のままとする。
2. 第62回日本医学検査学会の座長9名を11月6日までに選出する。
3. 当会のホームページに日臨技連盟のリンクボタンをアップした。連盟の会員リストを掲載するにあたっては、事前に氏名掲載を希望しない人の申告があれば掲載しないことを大臨ニュースで広報する。
4. I F B L S (国際学会)平成25・26年会長に日臨技小松理事が就任し、平成28年国際学会は日本での開催が決定した。
5. 一般社団法人移行に伴って、日臨技の公益財産約10.8億円は約16年かけて公益目的に使用される。

大臨技事務局より 会員の方へお知らせ

日臨技生涯研修対象行事の参加登録方法は、参加された方個人が行っていただくことになりました。

日臨技生涯教育研修対象行事の参加登録方法(参加された方用)

- ① <http://www.jamt.or.jp/>にアクセス
- ② 日臨技【日臨技 HP】→【ログイン】
- ③ 【生涯教育】を選択
- ④ 行事番号とパスワードを入力
- ⑤ 【参加登録】

詳細は大臨技ホームページ

■ 大臨技事業における受付方法について(重要) 2012年~を参照してください。

→ 世話人用には下記資料を掲載しています。

- ・ 行事登録マニュアル
- ・ 大臨技行事参加者リスト
- ・ 大臨技賛助会員リスト
- ・ 参加費の取り決め

【注意】 参加登録は、必ず、開催後1ヵ月以内に行ってください!!
(それ以降は、登録できなくなります)

厚生労働省 通知

平成 25 年度以降に実施される特定健康診査等におけるヘモグロビン A1c 検査結果の
受診者への結果通知、保険者への結果報告及び国への実績報告について

1. 平成 25 年 4 月 1 日以降に実施される特定健診におけるヘモグロビン A1c 検査について、国への実績報告は、NGSP 値で行うこと。また、受診者への結果通知及び保険者への結果報告については、NGSP 値で行うとともに、NGSP 値である旨を明示すること。
保険者から特定健診等の実施について委託を受けた者(以下1において「受託者」という。)がヘモグロビン A1c 検査を登録衛生検査所等に再委託した場合、登録衛生検査所等から受託者への結果の報告は、原則として、NGSP 値で行うとともに、NGSP 値である旨を必ず明示すること。
その際、保険者は受託者に対し、受託者は登録衛生検査所等に対し、それぞれ当該ヘモグロビン A1c 検査の委託又は再委託が特定健康診査等の実施のためのものであることを確認すること。
2. 保険者が、労働安全衛生法(昭和 47 年法律第 57 号)に基づく健康診断(以下「事業主健診」という。)の結果を特定健診の実施結果に代える場合、平成 25 年 4 月 1 日以降に実施される事業主健診におけるヘモグロビン A1c 検査について、事業主への結果報告及び保険者への結果報告は、NGSP 値で行うとともに、NGSP 値である旨を必ず明示すること。事業主から事業主健診の実施について委託を受けた者(以下2において「受託者」という。)がヘモグロビン A1c 検査を登録衛生検査所等に再委託した場合、登録衛生検査所等から受託者への結果の報告は、当事者間で特段の取り決めがない限り、NGSP 値で行うとともに、NGSP 値である旨を必ず明示すること。
その際、事業主は受託者に対し、受託者は登録衛生検査所等に対し、それぞれ当該ヘモグロビン A1c 検査の委託又は再委託が特定健康診査の実施に代える事業主健診のためであることを確認すること。
3. 保険者は、平成 25 年 4 月 1 日以降に実施される人間ドック健診等の特定健康診査以外の健康診断(以下「その他健診」という)の結果を特定健康診査の実施結果に代える場合は上記1に、事業主がその結果を事業主健診の実施に代えるために実施し、保険者が特定健康診査の実施に代える場合は上記2に、それぞれ準じた取扱いとすること。
その他健診を保険者あるいは事業主以外の主体が実施し、保険者がその結果を特定健康診査の実施に代える場合、平成 25 年 4 月 1 日以降に実施される その他健診におけるヘモグロビン A1c 検査について、保険者への結果報告は、国への実績報告が NGSP 値で行うことを踏まえ、適切に対応すること。
4. 平成 25 年 3 月 31 日以前に実施される特定健診の受診者への結果通知、保険者への結果報告及び国への実績報告並びに事業主健診の事業主への結果報告及び保険者への結果報告等を平成 25 年 4 月 1 日以降に行う場合、従来と同様、JDS 値のみで行う。

詳細は日臨技ホームページ <http://www.jamt.or.jp/>
行政情報をご参照ください。

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成25年1月号の原稿メ切は**11月30日(金)**、平成25年2月号は**1月4日(金)**です。